

大分県医労連

総単身化を加速 4割単身
社会的孤立・孤独問題の加速化

第34回中央委員会開催！！

大分県医労連は、2月5日（日）第34回中央委員会をオンラインで開催しました。オンラインでの開催はもう3年目です。コロナ禍によってこのオンライン開催も随分慣れてきたもののやはり寂しい。



勉強会では『最低生計費調査から見てきた最低賃金・

春闘での闘い方』を大分大学経済学部の石井まこと教授（写真左一番上）からじっくり学び、活発的な議論となりました。代議員13名含む延べ32名が参加しました。発言者から“募集しても中々入って来ない看護師。時給1,500円のパートは入って来るが、正規職員の賃金があまりにも低いため、正規を希望する看護師が入って来ない”と云った実態がありました。その中、現職の正規看護師は、残った仕事と夜勤回数を基準よりはるかに多い回数で働いている。賃金は上がらない、仕事は多い、きついではどのようにモチベーションを上げれば良いのでしょうか・・・?? この10年間賃金は上がりず、5割りが「生活が苦しい」と日本医労連のニュースに載っていました。今回の学習会でも“生活が苦しい”ということがデーターでも示されていました。最低生計費調査の見直しを真剣に国が取り組まなければ、少子化問題も解消されません。賃金が上がらないとやる気もおきないのは当然です。診療報酬、介護報酬の改定はもちろん、医療、介護職場の人員不足の解消を早くしないとみんな倒れてしまうよー！！

「わたしはロボットではありません！」と何かをすると表示されることがあります。ここでも言いたいよね(´;ω;)ウウ 「働き続けるための労働条件の実現！安全・安心の医療・介護を実現する大運動、大幅賃上げ実現に向けて頑張ろう！！」と日野委員長（写真右上）の団結がんばろう！！で閉会しました。



☆お知らせ☆ 大分県医労連 **第16回女性集会 開催**

とき：3月3日（金）10時～ハイブリット形式

ところ：別府 亀の井ホテル 詳しくは、大分県医労連へ

<http://oita-irouren.net/>

労働組合とはなんぞや??

そもそも『春闘』『秋闘』って何・・・? というところで、今回は春闘についてです。「労働組合」はよく分からないけれど春闘って聞いたことがあるという方は多いと思います。特に今年は、大手企業がこの物価高を考慮し、賃上げに前向きになり、年収最大4%程度引き上げますと報道がありました。労働組合は、毎年1月から2月頃、4月の新年度に向けて要求内容を決め、使用者と交渉して行きます。

春闘は、主に賃金や賞与（一時金）を交渉します。もちろん労働条件や労働環境の改善も交渉します。それには、突然〇〇円上げるや残業が多い、未払いがあると漠然と言えるわけではありません。

日々の情報が重要となります。情報提供者は一人一人の労働者、組合員さんです。その集まった情報に基づいて、全体の方針を具体化し、執行部で要求をまとめます。単独では難しいので、上部団体や産業別組織との連携で全ての方針を決めます。要求内容が決定すると労働組合は、『団結』して、要求提出日、回答日などを決め、何度かの交渉（使用者と労働者）を重ねて決定して行きます。

なので、一人一人が賃金や労働条件等を考えることが重要となります。